

飲食業

回答企業19企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比26.4ポイント低下の36.8と悪化したが、前回調査予想値(21.1)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で26.3ポイント低下の42.1、売上数量が21.0ポイント低下の47.4、利益でも21.1ポイント低下の10.5と各項目で減少した。

食堂・ドライブインではイベント等の外食需要の高まりから売上は堅調に推移。各種会合等は格差あるものの概ね良好に推移。

来期の見通し

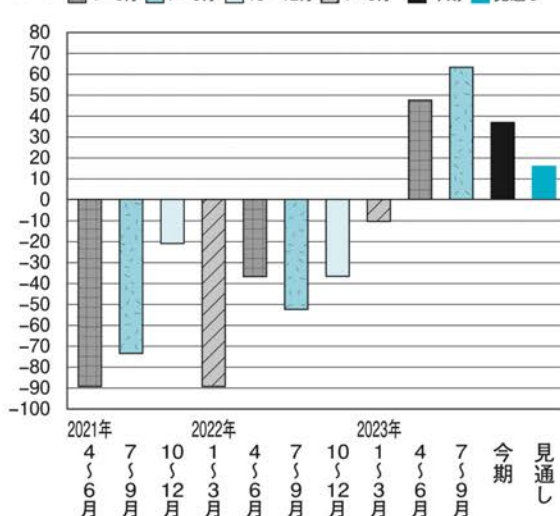
～総合的業況判断では悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比21.0ポイント低下の15.8と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で31.6ポイント低下の10.5、売上数量が36.9ポイント低下の10.5、利益では36.8ポイント低下の▲26.3と全項目で悪化。利益については大幅悪化の見通しとなった。

年度末に向け各イベント等の開催により期待感あるが、「材料費」、「光熱費」のさらなる高騰、暖房費の増加が懸念され悪化の見通しとなった。

業況判断D I 値の推移



不動産業

回答企業9企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比11.1ポイント低下の▲22.2と悪化し、前回調査予想値(▲22.2)と同様の結果となった。

項目別では、売上・受注で11.1ポイントの低下の▲11.1、売上数量が22.2ポイント低下の▲33.3、利益では22.2ポイント低下の▲22.2と全項目で悪化となった。

今期は、土地の売買が減少した。中古物件や賃貸契約に於いては例年並みに推移した。物件探しはネットを利用する顧客が増えており、業者間の競争が激化している。

来期の見通し

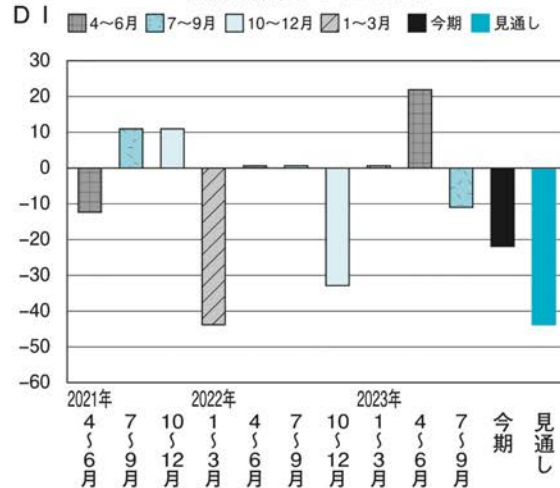
～総合的業況 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比22.2ポイント低下の▲44.4と悪化の見通しである。項目別では売上・受注で44.5ポイント低下の▲55.6、売上数量が22.3ポイント低下の▲55.6、利益でも11.1ポイント低下の▲33.3と全項目で悪化の見通しとなった。

来期は冬季間のため例年通り売買は減少、加えて物件価格高騰が大きく影響している。年度末は賃貸契約の需要期となるため、各企業とも情報力を強化している。

業況判断D I 値の推移



調査要領

- 調査時期 2023年12月下旬
- 調査地域 当金庫営業区域7市町村(弘前市、黒石市、平川市、五所川原市、大鰐町、藤崎町、田舎館村)
- 調査方法 上記地域内291社から当金庫営業店の調査員による聞き取り調査。
- 分析方法 各質問事項で、変化なしとした回答部分を除いて、「増加(上昇)」 「やや増加(やや上昇)」 したとする回答と、「減少(下降)」 「やや減少(やや下降)」 したとする回答の構成比との差(判断D.I.)を中心に分析を行った。